

【速報1】

トルクメニスタンの首都アシハバードで国家長老会議が始まる

トルクメニスタンの首都アシハバードで国家長老会議が始まりました。会議の冒頭、トルクメニスタンのグルバングルイ・ベルディムハメドフ大統領が演説を行いました。

大統領は、政治的、社会的、経済的、そして人道分野で国の 25 年間にわたる自主開発の成果の広いビジョンを提示し、国や社会の現在の状態を評価しました。

社会的・経済的領域での成果では、トルクメニスタン大統領は、特に、国内で過去 25 年間にわたって 1440 億ドルの価値投資が開発されていること、産業と非工業用の 544 大型施設が建設され、委託されていることに注目しました。

1995 年と比較して外国貿易の売上高の量は 8 倍に増加しました。トルクメニスタンは、二つの大規模なエネルギープロジェクトを実施しました。トルクメニスタン－中国ガスパイプラインとトルクメニスタン－イランのガスパイプラインです。トルクメニスタン－アフガニスタン－パキスタン－インド（TAPI）ガスパイプラインの建設が 2015 年 12 月に始まりました。

2007 年以来、国民経済と金融と銀行システムにおける基本的な改革が開始されたことが注目されました。このように、今日は、農耕社会から高レベルの技術と生産サイクルを利用した開発工業力へのトルクメニスタンの加速的転換という国家戦略が現実のものになってきています。

民間部門は、工業、農業、建設、サービス業やその他の分野で高い速度で発展しています。現在までに、GDP における非国有部門のシェアは 68%（エネルギー部門を除く）に達しました。非国営企業の総数は 25000 に達しました。

【速報2】

トルクメニスタンで国の新憲法が承認、採択される

トルクメンの首都アシハバードで行われた国家長老会議でトルクメニスタンの新憲法が承認、採択されました。

新憲法では、特に、政治的多様性と複数政党制を想定しながら、国家と社会の段階ごとの民主化、政治体制の更なる向上を目的としています。

このプロセスの重要な成果の一つは、トルクメニスタンの歴史の中で初めて「人権オンブズマン」制度の採用です。

憲法の採用にあたっては、政党、公的機関、および作業集団内で広い議論が行われてきました。新しい法律には、市民から受け取った提案や要望を考慮されています。